



光明祭が終わると、校内は一気に冬支度へと進みます。東京都では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が2ケタになりましたが、保健だより臨時号でお知らせしたとおり、今冬のインフルエンザの流行も気になるところです。東京都教育委員会の対策本部からは各都立校長あてに、以下の通知が発出されました。本校は対策本部の指針に基づき、これまで同様に感染予防に努めながら、教育活動を行ってまいります。（通知は一部抜粋・色付き文字等一部改変）

令和3年10月21日

各都立学校長殿

東京都教育庁新型コロナウイルス感染症対策本部長
藤田 裕司

リバウンド防止措置期間終了に伴う都立学校の対応について（依頼）

新型コロナウイルス感染症の対応については、令和3年9月28日付3教総総第1445号「緊急事態宣言の解除に伴う都立学校の対応について（依頼）」により、感染防止対策の徹底と学校運営の継続に取り組んでいただいているところです。

本日、東京都はリバウンド防止措置期間を10月24日で終了し、10月25日から11月30日までの間を**基本的対策徹底期間**として引き続き感染防止対策を徹底することについて決定しました。

記

2 児童・生徒に対する指導の徹底

(1) 基本的な感染症対策の徹底

- 毎朝検温、健康観察（咳、発熱、息苦しさなどの体調不良等の症状が見られる場合は無理せず休養）
- 登校時の健康チェック（登校前に検温、校舎に入る前にサーモグラフィ等で再確認）
- 常時換気の徹底（CO₂測定器による計測を活用）
- 教室等の消毒、アルコールを含んだ消毒液の設置（校内環境の管理）
- マスク（不織布）の正しい着用、3「密」の回避、正しい手洗い
- 教室等における密集の回避（児童・生徒等同士の間隔を2m（最低1m）以上確保）
- 校内で感染拡大の恐れがあると考えられる場合は、適宜オンライン学習を活用するなどの工夫を行う。

(4) 部活動について

- 実施に当たっては、別途発出される通知に基づき感染症防止対策を徹底した上で、実施する。

4 家庭における感染症対策の依頼

(1) 家庭における感染症予防策の徹底

- 外出は少人数で、混雑している場所や時間を避ける。都県境を越える移動の際は、基本的な感染防止策を徹底する。
- マスク（不織布）の正しい着用、3「密」の回避、正しい手洗いなどの手指消毒
- 毎朝検温、健康観察（家族に何らかの症状が見られる場合は児童・生徒等を無理せず休養（※この場合、各学校においては、児童・生徒等の学習の保障を図ること。）

○十分な換気

6 教職員等の健康管理の徹底

(1) 基本的な感染症予防策の徹底

○毎朝検温、健康観察（咳、発熱、息苦しさなどの体調不良の症状が見られる場合など健康状態に不安がある場合は自宅で休養）

○出勤時の健康チェック（健康チェック票に検温結果等を記録）

(3) 昼食や休憩時間における感染症予防策の徹底

○喫食の際、マスクは喫食直前に外し、黙食を行う。喫食後は速やかにマスクを着用する。

○大人数での喫食は避けるとともに、対面して喫食する形態を避け、会話はしない。

【再掲】PCR 検査を受ける・受けた ⇒ 学校又は専用公用携帯電話へ必ず連絡

以下の①②③の場合、**感染対策用の公用携帯電話に速やかに御連絡**ください。

- ・ 平日8:30~17:00 学校代表電話(3323-8421)で副校長をお呼び出しください。
- ・ 上記時間帯以外 感染対策用の公用携帯電話へお願いします。(時間外も可!)

副校長

泉 慎一

石川 拓

吉平竜太郎

- ① 学園生が医療機関等において PCR 検査等を受けた・受けることが決まった場合
- ② 学園生が濃厚接触者となった場合
- ③ 学園生の PCR 検査等の結果が分かった場合

★学園生が「放課後等デイサービス」を利用されている場合は、利用契約をしている保護者の方から、その事業所に、①②③をお知らせください。事業所等においても、以降の対応を協議することにつながります。なお、一報を事業所等へ入れられた際は、その際の事業所等の対応についても、学校へお知らせください。

【再確認】保護者の校舎内立ち入り制限等、感染予防策を継続します

今まで随時お知らせしてきた「感染予防対策」に御協力いただいていたお陰で、校内でも感染拡大は抑えられ、今に至っています。冒頭の通知文のとおり「**基本的対策徹底**」の大切さを改めて実感しているところです。感染予防策（「保護者の校内立ち入り制限」等の校内ルール）はすべて継続していきます。解除の際には改めてお知らせしますので、それまでは「**継続**」と御理解ください。また、第6波に備えて、校内には十分な感染対策用品の用意があります。御安心ください。

【御注意ください】ワクチン接種後の発熱等の体調不良

12歳以上の学園生では、ワクチン接種が進んでいますが、接種日の翌日に発熱するケースが大変多くなっています。登校時には平熱でも、在校中に発熱し、お迎えを依頼するケースも見られます。接種後、時間をおいて発熱する可能性もあるため、普段と違う様子（倦怠感や頭重感、不機嫌など）がないか、健康観察をお願いいたします。

なお、学校で発熱した場合には、感染症か副反応かの判断が困難なため、お迎えの対応となります。御理解・御協力をお願いいたします。

【担当】

東京都立光明学園

副校長 石川 拓

主幹教諭 伊丹 真紀